

■尾形光琳 画家。遺産を放蕩で使い果たし、弟乾山の陶器の絵付けなどしながら、“光琳模様”を確立、大傑作を遺した。

おがたこうりん

人身売買禁止1658＝

京都の高級呉服商(雁金屋)尾形宗謙の次男に生まれる。通称市之丞、名は惟富。

曾祖父道柏は本阿弥光悦の姉を妻とし、光悦周辺の文化人の一人であった祖父宗柏の時代に、徳川秀忠の娘で後水尾天皇の皇后になった東福門院の御用をつとめ始めて、(雁金屋)が大繁栄するなか、

殉死の禁止・1663＝ 5歳：

弟の尾形乾山が誕生。
能楽や茶道を楽しみ、書を本阿弥光悦の門人に学び、絵も描く趣味人の父のもと、恵まれて育ち、

酒井忠清大老1666＝ 8歳：

入鉄砲出女令1667＝ 9歳：

父の影響で能楽に親しむようになり、

東西海運確立1672＝14歳：

「花伝抄」など能の諸書を書き写し、父や兄とともに、能の会で舞ったりして、
画は最初父から手ほどきを受けたようだが、**狩野派**で探幽の孫弟子にあたる山本素軒に師事したことは、
素軒の作品の模写も残っていることから**確実**で、

..... 1676＝18歳：母が死去。渋谷七郎右衛門から「諸能仕様覚語之習」を伝授されるまでになるが、

藤十郎登場・1678＝20歳：

(雁金屋)最大の顧客東福門院が没し、また、大名貸しの焦げ付きも始まって、衰退に向かい、

徳川綱吉將軍1680＝22歳：

後水尾上皇も死去して、一気に没落。

天下一禁止・1681＝23歳：

探幽の「騎驢布袋図」を模写している。

堀田正俊暗殺1684＝26歳：

出世景清初演1685＝27歳：

京都の町人吉田八兵衛の娘を正としながら、女性関係は派手で、

生類憐令始・1687＝29歳：

この年、素軒が法橋になる。妾腹の最初の子を養子に出し、**父が死去、遺産のほぼ半分を譲渡されるが、**

..... 1689＝31歳：

次の子を産んだ愛人から訴えられて、家一軒を取られた上、多額の示談金を支払い、友人からの借金を加えて貸付や米の蔵元になって利殖を図り、

別子銅山始・1691＝32歳：

なお、裏屋敷を購入したりしていたが、

世間胸算用・1692＝34歳：

回収できない。**光琳の号を用い始める。**

奥の細道・1693＝35歳：

放蕩の末使い果たし、大名貸しの回収も不可能になって、弟乾山からも借金するようになり、

芭蕉+師宣没 1694＝36歳：

尾形家に残されていた光悦や宗達作品なども、ついに、質入れし、手放すことになって、

生類憐令頂点 1695＝37歳：

画家として地位を得て行くための工作か、二条邸をしきりに訪問して、**公卿二条綱平の庇護を得始め、**

荻原勘定奉行 1696＝38歳：

***弟乾山から借金の催促を受け、財産の整理を勧告されて、ようやく、画家として立つことを決意。**

..... 1697＝39歳：

現存する最初期の作品「十二カ月歌意図屏風」は、江戸狩野の様式で描かれ、「蹴鞠布袋図」「牡丹花肖柏図」もなお狩野派の域にあるが、「伊勢物語八ッ橋図」「秋草図屏風」あたりから変化が見られるように、

..... 1699＝41歳：

弟乾山が鳴滝に開窯、販売する乾山焼の絵付けを手伝いながら、染織や蒔絵の意匠図案の注文も受けるうち、宗達画風を摂取して行く一方、この年銀座年寄役となった中村内蔵助という強力なパトロンを得、

松の廊下事件1701＝43歳：

大坂の銅座手代にもなり、二条綱平の推挙で、法橋位を得ると、

赤穂浪士討入1702＝44歳：

内蔵助の1歳の娘を5年間預かり養育費として援助を受ける契約。***尾形家にあった「伊勢物語」に取材し、型を使って描いたらしい「燕子花図屏風」は大傑作となり、以後、独自の様式形成へと向かうが、**

赤穂浪士切腹1703＝45歳：

京都の富裕層に受け入れられず、生活はなお苦しく、おそらく内蔵助の誘いで、

団十郎刺殺・1704＝46歳：

初めて江戸へ下り、銀座屋敷に落ち着く。早速、内蔵助の紹介で「菊之屏風一双」の注文も受け、この間、内蔵助の仲介で妾腹の子を養子に出し、「中村内蔵助像」を描き、津軽越中守邸に出入りして「草花図巻」を描き、深川の富裕な材木商冬木家に寄寓して「秋草文様描絵小袖」を贈る一方、毎日のように雪舟を模写するなどしながら、二条家への出入りもあって、4、5回も京都と江戸を往復。****

富士宝永噴火1707＝49歳：

姫路藩主酒井忠奉から十人扶持で召し抱えられ、

シッパ拘束・1708＝50歳：

正妻が先に帰京。**二十人扶持に加増されて生活は安定するものの、窮屈な江戸生活に耐えられず、**

徳川綱吉没・1709＝51歳：

京都に戻ると、早速遊郭行き、放蕩の生活は止まらず、

冥途の飛脚・1711＝53歳：

京都新町通り二条下ルに**画室付きの新居を作り、以後そこで創作を続け、乾山焼の絵付けも手伝い、**

乾山陶器店・1712＝54歳：

妾腹の子が早世するなど、生涯、6人の女性に7人の子を産ませている。

和漢三才図会1713＝55歳：

乾山に保証して貰って借金するなどするうち、

絵島事件・1714＝56歳：

銀座關所で、最大のパトロン中村内蔵助が家財没収のうえ追放になって精神的打撃を受け、再び二条綱平のもとへ足繁く通い始めるなか、宗達作品「風神雷神図屏風」「横楓図屏風」を模写する注文が相次ぎ、

国姓爺合戦・1715＝57歳：

***独自の宗達風を確立、様々な美的要素を完璧に統一した最高傑作「紅白梅図屏風」を遺して、**

徳川吉宗將軍1716＝58歳：

***没した。**